

## 予備自衛官補教育訓練参加者の激励（9月22日） ～予備自衛官補同士の懇談機会を設定し、初参加者の不安感を除去～



武器授与式で、初めて89式5.56mm小銃を手にし、気合の入った声で銃番号を読み上げる予備自衛官補



初参加者の不安感除去のために、Cタイプ（3回目の参加）訓練参加者との懇談機会を設定



Aタイプ（初参加）・Cタイプ（3回目の参加）訓練に参加する福島地本管理の予備自補11名

9月22日（金）、多賀城駐屯地において、第119教育大隊が実施する予備自衛官補教育訓練に参加する予備自衛官補11名を激励しました。

今回は、訓練に初めて参加する4名の状況を確認・激励するとともに、今年度の新たな取り組みとして、同日程でCタイプ（3回目の参加者）訓練に参加する福島県の先輩予備自衛官補7名との懇談を実施し、初参加者の不安感の除去に努めました。

このねらいは、「同世代の既参加者から親身な助言を得る。」「福島県内の訓練同期の輪の拡充」により、退職の防止及び訓練出頭率の向上を図るものです。

懇談した初参加者からは、「訓練や営内生活で、持参品以外に準備していた方がいい物は？」「いつもは朝食を摂らないので、朝から食事を急いで食べるのが一番つらいのですが、どうすれば？」等の具体的な質問に、Cタイプ参加者や福島地本予備自衛官が親身に回答しました。

福島地本は、予備自衛官補が所定の訓練を修了し、晴れて予備自衛官に任用できるように、訓練出頭の促進に努めていきます。